

# 令和4年度 急変時対応化研修会(動画研修)

## アンケート集計結果(函館市)

n=132 (回収率 24.5 %)

24.5%

### 1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	23	(17.4%)
・介護機関	96	(72.7%)
・その他	15	(11.4%)

### 2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	1	(0.4%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	19	(8.2%)
・保健師	9	(3.9%)
・看護師	23	(9.9%)
・ケアマネジャー	86	(37.1%)
・相談員	10	(4.3%)
・介護職員	47	(20.3%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	3	(1.3%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	3	(1.3%)
・事務員	10	(4.3%)
・その他	20	(8.6%)

### 3. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	125	(53.9%)
・どちらともいえない	5	(2.2%)
・よくなかった	1	(0.4%)
・無回答	0	(0.0%)

#### 【ご意見等】

##### 【医療機関】

##### <薬剤師>

- ・とてもわかりやすく良かったです。薬局の事務をしておりますので急変時に対応することがあまりないかと思いますが、家で介護をしておりますので、勉強になりました。
- ・施設へのお薬お届け時に患者様の急変に立ち会うことも考えられるため薬剤師として必要な動きができるよう対策が必要と考える。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。

- ・施設職員、医師の現場での動きや考え方を知ることができて、とても参考になりました。
- ・ん？と思える大切さを学ぶことができました。  
いつもと違うことに気がつけるかどうかは薬局職員でも必要な気づきだと思いました。  
患者様の変化に気がつける薬剤師でありたいと思いました。
- ・救急搬送などの対処の実際がわかり、よかったですと思います。欧米のように、薬剤の処方権が、ある程度看護師にも認められていればよいと思いました。処方が医師にしか出来ないのは日本だけです。
- ・今回の急変時対応についての研修、とても勉強になりました。  
実際の医療・介護の現場で、どのように急変に対応しているのかお話を聞くことができ、どのような情報が大事なのか、緊急を要するものなのか、どこへ繋ぐべきなのか等を考え直すことができました。  
私は調剤薬局に勤務しておりますが、休日や夜間に患者様から急変の相談を受けることがあります。  
その際は今回の研修で学んだことを思い出し、どのようなことを聞き出し、いつもとどのように違うのか、主治医の先生には事前に言われていたことはあるか等を確認し、必要な対応をしていきたいです。貴重なシンポジウム研修、ありがとうございました。
- ・急変時ではなく、一歩手前での確認の大切さ、日頃からの患者さんと同じ医療従事者間のコミュニケーションがとても大切だと感じた。

### <看護師>

- ・急変時の対応のポイントが分かりやすかった。
- ・当クリニックの看護師もGHのオンコール対応をしており、対応に困ったり悩んだりすることがあり、訪問看護の現場でも同じような悩みを抱えている看護師の現状を聞いたこと介護の立場での情報を聞いたこと、とても有意義な時間でした。私達の今後の励みになりました。ありがとうございました。
- ・それぞれの立場からの意見が聞けて、とても勉強になりました。医師がほしいと思う情報について、曖昧な報告にならないように気をつけること。また常にいつもと違うかもという、疑いの目を持って日々観察していきたいと改めて感じました。
- ・私は病院勤務の連携室看護師です。施設の方や、訪問看護の方々が、病院へ連絡する前に、とても注意を払っていることを日々痛感しています。院内の医師は、科、スケジュール等が多種多様です。皆様方に報告して頂ける際、「報告の仕方としてどうだろう、先生に失礼ではないか…」と思われる雰囲気が多々あります。窓口が看護師の私である場合は、私の方で医師のスケジュール等を確認して報告していきますので、ざっくばらんに表現して頂けるよう努力します。
- ・私自身の理解力が不足しているがために、なかなか通じない…といった場合の時はごめんなさい、噛み砕いて説明して頂くか、他のMSWIに相談して頂く方法もあるかとも思います…。そのようなことが無いよう、努力します。  
道南メディカの利用を引き続きお願い致します。山本さんが、訪問看護として心がけている点についての項目も同感いたします。入院患者さんが退院される際、どのような状態になったら受診、入院を想定するのかを考えて、引き継ぎをしていくことの大切さ、また、外来フォローの経過の中でも密に情報交換し、こちらからも興味を持って確認をしていくことが大切であると感じました。対象者様ができるだけ長く、しあわせな在宅生活を送って行けるよう、約束指示・薬剤の準備をつねに心がけていきます。
- ・病院勤務である私たちは、医師をはじめ、医療機器、薬剤等全てにおいて揃っている環境であるため、皆様方の苦労は計り知れない事と思います。病院側としてできることを、今一度考えて行きます。  
大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・介護者・看護師・医師の視点からの話しが聞けて、参考になりました。

### 【介護事業所】

#### <ケアマネジャー>

- ・どのタイミングでDr.に相談したら良いのか、訪看さんで救急搬送等に備えて心がけていること等は、ケアマネが訪問した際にも参考にできることがあり、「いつもと違う」となった時に、具体的に何を準備しておけばスムーズに動きやすいか等、再考できました。
- ・気づきの視点、兆候の重要性、医師が求めている情報を確認できた  
上記が特に勉強になりました今後の業務に取り入れていけるようにします
- ・急変時の対応として、普段から関わっている利用者でも、今日は何か違うという気づきを常に持ち、昨日と何が違うのか、自分だけではなく、周りにいる各職種との連携を持ち情報共有して早期に対応する必要があると改めて認識しました。
- ・様々な職種の方の意見を聞けて、とても参考になりました。  
ありがとうございました。
- ・勉強になりました
- ・普段からの体調の把握の必要性が重要ということは良くわかりましたが体調不良は時を選ばずに発生するものと思われそうです。いつ何時も対応が出来る体制を医療機関に説に希望します。
- ・各事業所の判断・行動内容がとても良く理解出来ました。医師の判断・行動、連絡すべき時間帯等普段お聞きできない事を伝えて貰えたので大変勉強になりました。有難うございました

- ・主治医との関わり方や日頃の状態の観察、急搬の対応について、環境や職種等により場面は違っていますが、悩みのところは同じなんだと感じました。合わせて、在宅では一人で訪問する場面も多く、施設のように行かないにしても、対応の参考にして沿って進めていけるマニュアル的な物があれば良いのではないかと感じました。
- ・特にありません。
- ・入所系の施設やサービス事業所は特に緊急時や急変時のマニュアルは備えていると思うが、実際にその時に実践できているところは少ないのではないかなと思う。自分たちも含めてロールプレイやトレーニングの必要性を感じた。
- ・訪問看護ステーションの緊急対応コールの件数を見て案外多いと感じた。
- ・訪問看護ステーションによっては緊急時加算契約をしていますが実際には緊急時対応しないステーションがある。当番ナースの緊急対応の在り方を管理できているのだろうか。
- ・緊急時に誰に連絡・相談するのかを決めて把握・確認しておくことの重要性を感じた。
- ・いつもと様子が違うと感じたことを共有するために、ヘルパーや訪看と情報共有・把握しておくことの重要性を感じた。
- ・訪看オンコール後の診断の多くが誤嚥性肺炎によるものとのことで、逆に考えれば口腔ケアと生活を整える支援に力を入れれば、状態の悪化や入院を減らせるかもしれないと感じた。
- ・小西院長の話がわかりやすかった。ドクターが何を聞きたいかを知れてためになった。ドクターが聞きたい情報が何なのかわからないまま一生懸命伝えようとしても噛み合わない理由がわかって良かった。
- ・医療と介護の連携が本当に大切で、情報の具体的に簡潔でわかりやすく伝えることが大事だと学べた。
- ・医師に直接聞く機会がないような話が多く、参考になった
- ・呼吸状態についても、ただ、「荒い」だけではなく、どのように荒いか、「息苦しさ」や「意識レベル」等を見る必要性、また、痛みについても程度や箇所等の確認。胸苦でも心窩部通なのか呼吸なのか心疾患なのか、また、症状の出現時や何かのきっかけ、出現は体動時によるものなのか等、細かく伝える事の大切さを学ばせて頂きました。
- ・基本的には急変になる前の早期対応が重要であると改めて感じた。また、個人的な視点ではなく、多職種で連携を図る事が大切だと感じた。
- ・とてもわかりやすい内容で勉強になりました
- ・Drからの対応しやすい連絡時間などが聞いて参考となった。
- ・医師への連絡時間等を確認することができた。
- ・地域の開業医の状況にも触れられ、とてもいい研修でした。担当する利用者の主治医と普段から情報共有しておくことが大切だと再確認できた。
- ・漠然とした情報ではなく、医師や看護師・救急隊員が鑑別診断がしやすいような情報提供を行なう必要があることが分かりました。また日頃の観察において普段と違うなど疑いの眼を持って接することも大事だと分かりました。
- ・大変ためになりました。医師の意見で報告してほしこと等詳しくわかり今後の利用者の報告の仕方が明確になりました。

#### <相談員、介護職員>

- ・普段から医師と頻りに話をする機会がないので、急変時における医師の鑑別診断等の考え方について拝聴することができたので、大変有意義な内容でした。
- ・分かりやすい解説でとっさの時対応焦らないようにしていきたいと思います。
- ・普段の状態をよく知ることが、とても大切なことなのだと改めて思いました。救急に対する線引が難しかったので、他者の意見はとても頼りになりました。
- ・急変にたいして分かってるつもりでしたが復習の機会を持たせて頂きありがとうございました。
- ・いつもと違うんじゃないかと疑いの視点をもつことも大事な事だと改めて勉強になり良かったと思いました。
- ・テーマは良かったと思います。欲を言えば、もう少し踏み込んだ話が聞ければ嬉しかったです。小西先生の、やりづらいと思うことはないかという問いについてあまり話が広がっていませんでしたが、医療機関や医師との連携において実際には多々トラブルはあるように思います。相談しづらいことで状況が悪化するケースも往々にしてあるかなと思うので、今後深掘りする機会があれば嬉しいです。
- ・日頃から利用者様をこまめに観察し常に何か起きていないか早期発見、早期対応を行う。職員同士の情報交換を密にし出来る限りの対応を行い急変を察知する。医師への連絡、緊急搬送の際は症状の変化は重要な診断への情報なので的確に報告する。
- ・気付きでは入居者様との日々の関わりかたが間違いないではないという自信と、あらためて重症化しないために私たち介護職員の観察力が重要であると感じました。
- ・いつもと違う変化を観察していきチーム共有の重要性をおもいました

- ・ 介護の立場から、医師や、看護師へ報告する際の報告の仕方、いつもとどう違うのか、何が変なのかを言語化できるような利用者様との接し方を常に考え、勉強をしていきたいと思う。
- ・ 大変参考になりましたが、通所介護での急変時対応も詳しく知りたかった。
- ・ 普段の利用者さんの体調の変化の見極めがよくわかりました。
- ・ 急変時の対応をもう一度再確認出来た事と、今後急変時の対応に生かしていけたらと思いました。

#### <施設管理者>

- ・ 非常にわかりやすかったです。『何か違う』に気付く大切さ、更に具体的な『何』を表現し伝えることの大切さ。当たり前なことなのでしょうが、非常に勉強になりました。
- ・ 高齢者はいつ何があってもおかしくないといった認識を職員がどれだけわかっているかで、緊急時の対応も変わってくると思います。常にアンテナをはり、利用者様の変化に気付けるよう、利用者様の安心安全のために日々職務に奮闘している毎日です。
- ・ 緊急時の対応はこれまでに何度もしてきましたが、自分たちがやってきたことが概ね間違いではなかったと再確認できたました。ありがとうございました。
- ・ 発表された方が施設側、看護師、先生とそれぞれの立場の意見を聞いたのでとても参考になりました。
- ・ 他事業所の実情を生々の声で聴くことができる大変良い機会だったと感じました。

#### <福祉用具>

- ・ モニタリングなどで個別に利用者宅へお伺いすることがあるため、訪問時における利用者の急変は想定し得る事なので大変参考になった。

### 【行政】

#### <救急救命士>

- ・ 貴重な講演を視聴させていただきありがとうございます。介護福祉施設からの救急要請は頻度が多いので、施設側の考えが聞けたのがすごく有意義でした。しかしながら、座長もおっしゃっていたようにパネリストの方々は、洗練された観察、考え方を持たれているので、現状は施設によって差があるかと思います。今後、地域の施設と連携を取りながら、救急隊と寄り添いあえる関係性を構築していけたら、緊急時、急変時も適切かつ迅速に対応できると考えております。有意義な講義ありがとうございました。参考にさせていただきます。
- ・ 同一の事象であっても様々な視点から、それぞれ対応が異なることを改めて理解することができた。

## 4. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

### 【具体的な内容等】

#### 【医療機関】

##### <薬剤師>

- ・ 函館の地域に根付いた医療サービスの提供ができるようになればと思います。
- ・ コロナ関連を希望します。
- ・ 今回のディスカッションで異職種間の意見の絡みを見ることができてよかったです。今後また機会があれば異職種間の意見交換を拝見できればと思いました。
- ・ 同様な、実際のケーススタディー。
- ・ 医療・介護の現場の中で、患者様/利用者様の栄養・排泄・睡眠・認知機能・運動機能の状態変化の注意点等について、実例等を交えて詳しく知ることができると、とても勉強になります。

##### <看護師>

- ・ 施設での看取り対応
- ・ 認知症ケア、感染対策

##### <ケアマネジャー>

- ・ どのような研修でも、参考になれば参加させて頂きたいです。
- ・ 認知症の方の支援、医療と介護の連携方法について
- ・ 訪問リハビリの個別の目標設定についてリハ職としての考えについて
- ・ 特にありません。
- ・ 道南メディカをあらためて詳しく知りたいと思いました。テスト事例やサンプルを用いた、運用デモのようなものが見れたらと思いました。
- ・ 引き続き介護と医療に連携における問題点や改善点など取り上げて、解決につながるような研修をして欲しいです。

- ・ インフォーマルサービス
- ・ 自助 共助 公助
- ・ やはり、医療連携的な内容を一番に聞きたいです。今回は退院前カンファについて、今回は緊急時についてですが、各居宅支援事業所でどのように情報のやり取りを行っているか、各事業所でお答えできる範囲で情報を提供して頂ければ幸いです。
- ・ 認知症疾患の方の体調管理について(健康管理における視点等)
- ・ 精神疾患の方のメンタルケアについて
- ・ 今回のような、医師の意見が聞きたいです。
- ・ 医療と介護のギャップなどが興味あります。
- ・ 社会資源の知識を得たい。
- ・ 医療室との連携。医療職からのサービスについての意見等を聞く機会があればと思います

#### <相談員, 介護職員>

- ・ サービスマナー研修・虐待研修・ハラスメント研修
- ・ 気分障害等の精神疾患について
- ・ 誤嚥について
- ・ 排泄ケアと接し方について
- ・ 自宅療養や看取りについて知りたいです。
- ・ ターミナルや医療関係を勉強したいと思います。
- ・ 誤嚥性肺炎の症状や対応の仕方等。
- ・ バリデーションについて
- ・ 誤嚥性肺炎について
- ・ デイサービスへ来所している方の急変時対応についてを希望します。
- ・ 緊急時事例説明してくれるとわかりやすいです。
- ・ 応急措置の研修等していただけたら助かります

#### <施設管理者>

- ・ 認知症の行動心理症状について、対症療法ではなく当事者のBPSDを引き起こしている背景に何があるのかに目を向けることや、当事者の心理状態を理解しようとする視点が大切なことを、具体例を交えながらわかりやすくご教授して頂ければ嬉しいです。
- ・ 看取り、虐待、ハラスメント、感染対策
- ・ 新たに介護を始める介護職員向けの研修や、病院でしか勤務をしたことがない看護職員向けに高齢者施設(特に医師の常駐が無い場合)で勤務する場合の注意点をディスカッション形式で行って欲しいです。

#### <救急救命士>

- ・ 介護福祉施設、訪問看護に精通している、各地域の方々(函館市以外の施設)のお話も聞きたいです。医療資源や土地柄等の違いもあると思いますので。
- ・ 参集形式でのディスカッション(今回のような急変時対応についてや、ACP・DNARについてなど)